

茅ヶ崎市立図書館は…

本館、分館、10分室と配本所、いずれの場所でも、1枚の利用者カードで本は10冊、視聴覚資料（CD等）は5点、合わせて15点まで15日間借りることができます。利用者カードは0歳児から作ることができます。図書館では、本の貸借だけでなく、乳幼児や小学生を対象としたおはなし会の開催やおすすめ本のコーナー設置など本との出会いの場を提供しています。

家読を応援！！

図書館における取り組み

☆ブックスタート

QR

0才から1才7か月の子どもの対象に、絵本とバッグ、読み聞かせ体験をセットでプレゼントしています。赤ちゃんと一緒に絵本をひらく楽しさを味わいましょう。



☆よんでネット

QR

ボランティアの方々の協力を得て、おすすめの本を季節ごとに紹介しています。（市図書館HP「保護者の方・子どもの読書に関わる方へ」をご参照ください）。



※図書館では、家読にふさわしい本の紹介やサポートを行っています。
お気軽に職員までお声がけください。

茅ヶ崎市立図書館 茅ヶ崎市東海岸北1-4-55 ☎ 87-1001
香川分館 香川1-11-1 ☎ 51-4946

分室

小和田公民館図書室 ☎ 85-8755 鶴嶺公民館図書室 ☎ 87-1103
松林公民館図書室 ☎ 52-1314 南湖公民館図書室 ☎ 86-4355
青少年会館図書室 ☎ 86-9961 浜須賀会館図書室 ☎ 87-1101
小和田地区コミュニティセンター図書室 ☎ 52-9016
ハマミーナ図書室 ☎ 83-5611
茅ヶ崎市博物館図書室 ☎ 81-5607
小出図書室 ☎ 51-0005（土・日曜日、祝日は本館へご連絡ください）
松浪コミュニティセンター配本所 ☎ 87-8855

×（エックス）

ホームページ <https://www.lib.chigasaki.kanagawa.jp/>

QR

うちどく
家読を



はじめませんか！



本の虫
ブン&モン

茅ヶ崎市立図書館に住んでいるふたごの本の虫。二人は、毎日なかよく図書館の本を読んでいます。毎日たくさん本を読んで、本の栄養をどんどんたくわえているのです。



家読（うちどく）って？

「家庭読書（かていどくしょ）」の略語で、家族みんなで読書を通じてコミュニケーションを図り、家族の絆を深める「家庭ふれあい読書」を意味します。



どうして子どもの読書は大切なのです？

子どもの読書は、子どもの「のびよう」とする心をささえる力になります。希望をもって未来へ向かうために、読書でゆたかな心を育てることが大切です。そして、子どものころからよく読書をしていた人は、大人になっても読書をつづける人が多いのです。

■ 家族と一緒に読書をする事で…

- ☆感想を話し合うことで、自然なコミュニケーションが生まれます。
- ☆お互いの新たな一面を発見し、考えや価値観を知るよい機会となります。
- ☆子どもたちは自然と読書に親しみ、読書週間が身につきやすくなります。

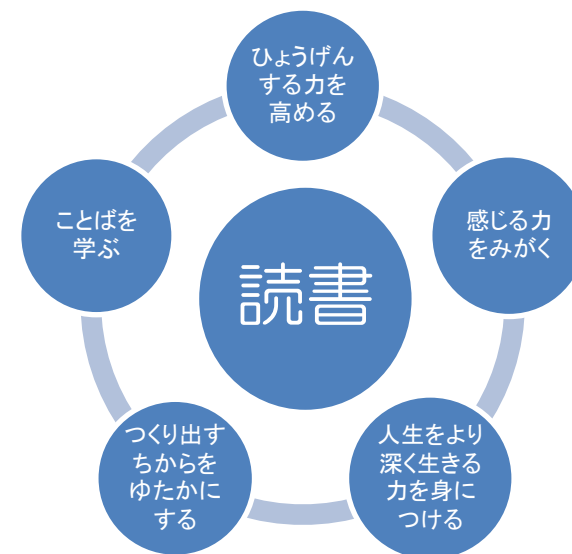
■ どうやって始めたらいいの…

むずかしいルールや決まったやり方はありません！

たとえば…

- ☆家族で同じ本を読んで感想を話しあう
- ☆1冊の本をみんなで声に出して読みあう
- ☆家族と一緒に図書館へ行く などなど

自由に楽しみながらご家族に合ったやり方で始めてみてはいかがでしょうか！



本にまつわるご家族のエピソードをおしえてください！

令和6年度に行った読書アンケート結果より

小4の息子は絵本から図鑑、小説、漫画と読めるものなら何でも好きです。リビングの一角に『みんなの図書館』をつくりました。おすすめの本に自作のPOPをつけています。

わが子はあまり学校へ行けていませんが、月に2度必ず図書館へ赴き静かに本を選ぶ時間を親子で楽しんでいます。お天気が良い日は足をのばして海岸で読書したりもします。お互いに「この本、良かったよ」と本をすすめあったり、難しい年ごろですが、本を通じて親子の交流をできていることは本当にうれしいことです。

～読書のよろこびをすべての子どもたちにとどける～

◆◆◆茅ヶ崎市子ども読書活動推進計画◆◆◆

子どもが大人になってからも読書を楽しめる茅ヶ崎市にするために何をしたらよいかを考えてまとめた計画です。

QR

茅ヶ崎市は子どもの読書(活動)を応援しています！

